



ボランティアバスケット

平成23年12月発行 44号

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会 安佐南区ボランティアセンター
〒731-0194 広島市安佐南区中須1丁目38-13 (安佐南区総合福祉センター内)
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013
E-mail asami@shakyohiroshima-city.or.jp



第2回安佐南区 ボランティアまつり ご協力ありがとうございました



去る10月30日(日)第2回安佐南区ボランティアまつりを開催しました。当日は、ボランティアのみなさん・福祉施設・作業所の方々のご協力により、笑顔いっぱいのボランティアまつりとなりました。来場された方々からは内容が濃かったとの声をいただき、今回の経験を今後活かして繋がりたいですね!本当にありがとうございました。



(ボランティアまつりポスター)



(子育てサークルマルモリダンス)



(ミニ・シンポジウム学生の報告)



(区消防署によるAED講習)



(ひとみ会によるマッサージ)



(はなみずきのメンバーさんの合唱)

ボランティアまつり： 東日本大震災を広島から想うコーナーより

「被災地ボランティアで想うこと」

個人ボランティア S. Kさん
菅直人前首相の不信任をめぐり国会がゴタゴタしていた6月上旬、岩手県陸前高田市の田んぼで全国からのボランティアたちと作業に汗を流していた。壊滅的被害を受けた中心市街地から少し離れた田園地帯だが、大津波の爪あととは生々しく、ほとんど手付かずのまま。復旧の遅れは誰の目にも明らかであるのに、被災地の心情を置き去りにして政争にうつつを抜かすこの国の政治の貧困さにいら立ちさえ覚えていた。

私たちに割り当てられたのは、流れ着いた木材や漁網、コンクリート片などを片づける作業である。排水路が壊れた田んぼには所々にへドロの沼ができ、破傷風菌がウヨウヨしているが、危険をかえりみず泥沼へ足を踏み入れる若者もいた。作業を無事終えたとき、言いようのない充実感に包まれた。社会への無関心層が多く、ジコチューと批判される若者が被災地では他者と積極的に関わる。その姿は見ていて爽快だった。実際に被災地で力の仕事に求められるのは助け合いと連帯の精神である。そのことを身をもって自然に実践できるボランティアの神髄に触れた気がする。

ただ、ボランティアの手が入った個所は地図上に落とせばほんのピンポイントに過ぎない。本当に復旧を後押しするパワーとなり得るのか。ズタズタにされた家や田畑が広がる光景を前にして、ある種の無力感ともどかしさを感じたのは私だけではあるまい。

それでもボランティアによって確実に一步前へ進んだという手応えは自信と勇気を与えてくれる。被災地へと私を駆り立てるものは様々であるが、過酷な状況を受け入れ、立ち上がろうとする被災者がいるからである。これまでに岩手県内に3回入った。変わらぬ支援の気持ちを行動で表すためにも、事情が許す限りこれからも続けていきたい。

9月には陸前高田市の仮設住宅の青空サロンにお邪魔した。避難所暮らしからやっと仮設へ移ったとはいえ、状況は依然厳しく、元の生活に戻れるめども全くない。そうしたなか振る舞われた抹茶ともみじ饅頭をほおぼりながら明るく談笑する高齢者や無邪気に駆け回る子供たち。お年寄りが童心に返って廿日市市の団体が送った手作りの竹とんぼを飛ばしてはしゃぐ、ほのぼのとした場面も見られた。深い悲しみを笑顔で押し隠して接する被災者の優しさに胸が詰まった。縁もゆかりもない広島のボランティアと被災者が心を通わせる。そんな時間を持てたのは何物にも代えがたい体験だった。

復興事業が本格化し、被災者の生活再建が急がれるなか、支援の中身もモノからココロへと重点が移っていく。ただ、手付かずの被害状況からみて、泥出しやがれき撤去にはボランティアの手作業がまだまだ必要とされよう。ピーク時に東北三県で月20万人を超えたボランティアが11月には4万人に減ったのは気がかりである。

この秋、首都圏ではボランティアと観光をセットにしたバスツアーが大人気だったという。広島でも同様のツアーが運行されたと聞いた。観光地での宿泊や土産物の買い物で被災地周辺にカネを落とすことも立派な支援策の一つである。ボランティアをしたくてもきっかけがないという人が多いが、こういう方法なら敷居が低くなるだろう。

10月の安佐南区ボランティアまつりのミニシンポジウムでも発言したが、今後は広島にいながらできるボランティアも重要性を増してくる。福島からの避難者のサポートのほか、東北の特産品のネット購入、市民ファンドへの出資など個人でも気軽にできる方法はある。要は息長い支援のために知恵を出し、行動を起こしていくことである。



田んぼでがれきを拾い集めるボランティア
飛び出たクギを踏まぬよう慎重な作業を進める (6月1日 岩手県陸前高田市)



小学校校庭に立つ仮設住宅の青空サロンで、被災者に抹茶ともみじ饅頭をふるまうボランティア (9月11日岩手県陸前高田市)



「ボランティアまつり」を終えて

K. Nさん



10月30日、雨の日曜日になりましたが「第2回ボランティアまつり」を滞り無く終え、ほっとひと安心です。まつりに来場して頂いた皆様も楽しそうでした。なにより参加された各グループのメンバーや事業所の職員の方々、個人ボランティアの皆さん、ステージ出演の皆さんの真剣にまつりへ参加されている姿に感動しました。

振り返って見ますと何回も出席したボランティアまつり実行委員会の会議が懐かしいです。「それぞれ、自分たちのコーナーの絵は描けるのですが（まつり）としての全体のイメージが絵にならない」メンバーの誰しもが思っていた事でしょう。手際よく議題を決めていきたくとも選択肢が具体的に描けない状況でした。（まつり）の中心にはなにを置くべきか・・・？しかし転機が訪れました。7月に実施されたボランティア連絡会の研修会です。研修課題「広島に災害が起きたとき、現在のボランティアグループの活動をどう役立てることができるか？」ながい、ながい、問いかけでしたが実は近道でした。ボランティア連絡会のメンバー34名が参加して、各グループが頭を並べて考えて行くうちに、少しでもグループ内の結束が生まれました。活動の中での問題点の掘り起こし、他のグループが抱えている問題点も知る事が出来ました。お互いが共通する壁に阻まれているという仲間意識が芽生えたように思います。（まつり）を盛り上げるには、それぞれの参加グループが盛り上がりたければ、受け持ちのコーナーを盛り立てるには・・・。会議は重ねるうちに、会議で小さな問題点ですが提起されるようになり、最終会議では各グループから、当日ここをああして欲しい、何を如何して下さいとの要望やお願いが具体的に上がるようになりました。ボランティア活動でつながる仲間を信じて協力が要請できるチームに少しずつ成長しました。第3回、第4回とこの（まつり）が継続されることが大切です。

普段はそれぞれのボランティア活動で頑張っている仲間が年に一度の（まつり）で力を合わせて同じ目標（自分達のボランティア活動をまつりでどのように生かせるか）に向かい肩組み合えるチームに育てば。もし「広島に災害が起きたとき」には、ボランティアグループが連携し個人ボランティアさんにも参画して頂き、互いの知識と技能を出し合っって被災された障害者の皆さんに速やかに支援の手を差し伸べられる「しなやかなチーム」が創られているだろうと思います。



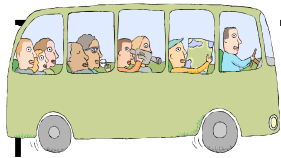
（東北支援物品販売の様子）

Thank You

ボランティアまつりで行いました東北支援物産販売の売り上げ141,841円を福島県の「飯館村『未来の翼』プロジェクト事業」へ全額寄付します。12月中に、ボランティアまつり実行委員会の手紙・ボランティアさんからのメッセージを添えて、同プロジェクトの口座へ送金します。みなさまのご協力本当にありがとうございました。

福島県の「飯館村『未来の翼』プロジェクト事業」は、放射能汚染による危険から全村避難という大変厳しい状況をしいられている飯館村において、次世代を担う中学生を対象とした海外研修を飯館村教育委員会が企画する事業です。





東北へバスで行くボランティア募集

～南相馬仮設住宅「土日お茶会サロン」ボランティア～

日程：平成 24 年 ①1 月 13 日（金）～1 月 16 日（月） 締切 1 月 6 日（金）
 ②2 月 17 日（金）～2 月 20 日（月） 締切 2 月 3 日（金）
 ③3 月 16 日（金）～3 月 19 日（月） 締切 3 月 2 日（金）



時 間：19 時 広島駅出発 最終日 早朝に広島着

行 先：南相馬市生活復興ボランティアセンター

活動場所：福島県相馬市鹿島区内仮設住宅

宿泊場所：南相馬市内旅館等

募集人員：各 20 人程度 参加費：1 人 25,000 円

事前打合せ：①1 月 7 日（土）②2 月 4 日（土）③3 月 3 日（土）
10:00～12:00 広島市社会福祉センター 3 階

《申込・お問い合わせ》

広島市被災者支援ボランティア本部

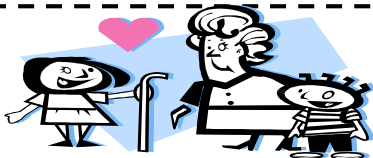
広島市中区千田町 1-9-4 3

広島市社会福祉センター

TEL：544-3399

FAX：544-3403

詳しくは広島市社会福祉協議会ホームページ (http://shakyo-hiroshima.jp/v_detail.php?id=106) をご覧ください。



「東北に行って」



S. I さん

私はこの度東北にボランティア活動に行きました。11 月 1 日～8 日までの 1 週間宮城県石巻市の一般の方の家の 1 階を借りて地域の人たちの集まるサロンでのボランティアをさせていただきました。私が 1 週間で感じたことは「スタートラインに立てた」ということです。テレビや本で被災地のひどさや無惨さをわかったつもりになっていました。その気持ちのまま、石巻市の沿岸部や南三陸町の 360 度茶色くて何も無い、あるのはぐちゃぐちゃになったよくわからない物ばかりという風景を見て、ただただ立ち尽くして、現状を見ることしかできません。テレビの映像が目の前に広がっているようで何も考えられない、感じない、夢の中にいるようにふわふわしている自分にショックを受けました。常に戦争もこんな状況だったのかな…と思うくらいでした。

しかし、ミーティングで自分の感想を話す時になって言葉にしようとする、一気に感情や現実味が押し寄せてきて涙が止まらなくなりました。その時に初めて考えないように感じないように無意識に脳が働くほどに悲惨な状況があること、受け入れがたい現状があることを身をもって感じました。

被災された方が、私でさえ怖いと感じた海を「自然は癒されるよね」と言った気持ちや、何も無い土地を指して家の間取りや当時の状況を明るく話してくれる姿を見て…本当に私は何もわかっていなかったのだと、100%わかることはできないのだということがわかりました。

現地の職員さん方は短期のボランティアによく言います。「多くの人に伝えて欲しい」「見て知って感じてほしい」と。今からは目に見えない部分のメンタルなものや、人と人との繋がりを作ることが重要とされているように感じました。その面で長期的なボランティアが望まれるように感じます。

事務局の方の「テレビでは事実を知ることはできるけど真実を知ることはできない。皆さんには何か真実を感じて持ち帰って伝えてほしいです。」と言われた言葉に、本当にそうだと実感しました。やはり現場に行かなければ何もわかりません。ボランティアでなくてもいいです、観光でも良いのでぜひ東北に足を運んでみてください。そして忘れないでください。復興したように見える神戸の街でさえ 16 年経った今も支援が行われているそうです。私は一生忘れることなく、伝えていき、機会を作って足を運んでいこうと思います。

この度の東北での経験は辛いこともたくさんありましたが、それ以上に楽しくて、東北の綺麗なところもたくさん見せていただきました。毎日が充実していました。東北でお会いした方は観光に力を入れたいと未来に希望を持っておられました。日常に感謝して私も毎日生活していこうと思います。話は尽きませんがこの辺で・・・

手話ボランティア入門講座

聴覚に障害のある方のコミュニケーションの手段に『手話』があります！手話を使って、交流してみませんか？

【日時・内容】

回	日程	時間	内容
1	1月24日(火)	18:30~20:30	開講式「伝えあってみましょう」
2	1月31日(火)	18:30~20:30	「自己紹介をしましょう」
3	2月7日(火)	18:30~20:30	「家族を紹介しましょう」
4	2月14日(火)	18:30~20:30	「趣味について話しましょう」
5	2月21日(火)	18:30~20:30	「数字を使って話しましょう」
6	2月28日(火)	18:30~20:30	ボランティアサークルとの交流会・修了式

会場：安佐南区総合福祉センター 6階会議室1・2
 対象：手話活動に興味があり、講座終了後安佐南区での手話ボランティア活動を考えている方
 参加費：500円(資料代・交流会費として)
 定員：20名(定員になり次第締め切ります。)
 協力：広島市ろうあ協会安佐南支部
 手話サークルかけはしギオン会場



問合せ・申込：安佐南区社会福祉協議会 TEL 831-5011 FAX 831-5013

予告

傾聴ボランティア入門講座

日時：平成24年3月5日(月)~3月19日(月)
 毎週月曜日10:00~12:00【全3回】
 場所：安佐南区総合福祉センター6階
 内容：講義・傾聴ボランティア活動体験談・
 ロールプレイ

詳細については次号でお伝えします。

点訳むつみ会点字カレンダーを制作

点訳むつみ会では、毎年点訳したカレンダーを作り、希望される視覚障害者の方へ贈っています。今年も早くから作業に取り掛かり、点字・墨字・季節のイラストが入った素敵なカレンダーが出来上がり郵送しました。



ボランティア連絡会交流会開催予定

安佐南区ボランティアセンターに登録するグループの会員・個人ボランティア同士で楽しい時間を過ごしましょう！

日程：平成24年2月15日(水)
 13:30~15:30



場所：安佐南区総合福祉センター 会議室

内容：ボランティア活動体験を通して、他のグループの活動を知ろう！手工作品を作って東北支援に繋がりたい！そんな声に応えようとただ今検討中。

*詳細が決まり次第に、登録ボランティアグループ・個人ボランティアの方にはチラシ等でお知らせします。



お知らせ



2012 マーガレットコンサート

～障がい者と広島交響楽団とのジョイントコンサート～（手話・要約筆記つき）

日時：平成24年2月12日（日）

開場 14:00 開演 15:00～16:30

会場：広島国際会議場フェニックスホール

入場料：前売自由席 大人 1,500円 高校生以下 800円

当日自由席 大人 1,800円 高校生以下 1,000円

前売指定席 1,800円 当日指定席 2,000円



チケット販売：市内プレイガイド、広島市役所障害福祉課、各区役所保健福祉課

*車いす用の観覧席を用意しています。市役所障害福祉課までお問い合わせください。

広島市役所障害福祉課 TEL：504-2147 FAX：504-2256



ボランティア募集

レクリエーションのお手伝い

高齢者福祉施設（特養）利用者の方々のレクリエーションのお手伝いをしてくださる方を募集しています。特技（歌・折り紙など）を活かした活動で、交流してみませんか？

日時：毎週火曜日 10:00～12:00

活動内容：レクリエーションやゲーム等での
お手伝い

場所：特別養護老人ホーム 慈光園
（安佐南区高取北1丁目17-41）

*活動の頻度は、相談に応じます。月1回
位から始めてみませんか

問い合わせ：安佐南区社会福祉協議会



市視覚障害者情報センターより

ご存知ですか？

広島市視覚障害者情報センターでは、専門家の訓練や指導を受けるだけでなく、同じ障害のある仲間同士がカウンセリングを行なう「ピアカウンセリング」を行なっています。

当事者同士で日頃困っていること（調理、外出、近所付き合いなど）を楽しいおしゃべりによって解決していきませんか？お気軽にお越しください。

日時：毎週木曜日 11:00～15:00

（都合の良い時間でどうぞ）

場所：広島市視覚障害者情報センターカウンセリング室
問い合わせ：TEL・FAX 240-1220

障害者福祉バスの受付先の変更について

平成24年4月1日から障害福祉バスの予約や申請書の送付などの受付先が、広島市障害福祉課から広島市身体障害者福祉団体連合会になりました。